

ことば座 第18回定期公演

ギター文化館発「常世の国の恋物語百」第25話

# 透明な青の色は龍の流した涙の色

2010年6月18日、19日、20日

(18日開演 15:30、19日開演 15:30、20日開演 14:30)

朗読舞：小林幸枝

朗読：しらみひろち

脚本・演出：白井啓治／舞台背景画：兼平ちえこ／舞台美装：小林一男／音楽：野口喜広(オカリナアート JOY)

ふるさと風の会展を同時に開催いたします。公演の開演30分前までにご覧ください。風の会展は無料です。



## 風に舞う風子。

この国の神である龍が糖むという  
村上の山の頂上に立ち常世の里をぐるっと見廻した。

風子がそこに視たものは  
**希望の物語**だったのだろうか。



風子。言葉は心の真実を語るものだけれど  
美しいぶんだけ  
ガラスのように脆く壊れやすいものだ。だから風子。  
真実の言葉を 常世の国の風にのせて舞っておくれ。



(村上佐志能神社)

入場券 3,000 円 (中学生 2,000 円 小学生 1,500 円)  
ギター文化館 0299-46-2457  
いしおか補聴器 0299-24-3881  
…にて取り扱っております。

生涯学習として平家物語全段 百二十句の朗読に挑戦する兼平良雄

第一回朗読会 「平家物語巻第一、第一句 殿上の闇討ち」同時公演